

報告第 5 号

法人の経営状況について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙のとおり次の法人の経営状況を説明する書類を本議会に提出する。

令和元年 9 月 9 日

三 朝 町 長 松 浦 弘 幸

有限会社 グリーンサービス

法 人 の 経 営 状 況

(平成30年度決算及び令和元年度予算等)

有限会社 グリーンサービス

有限会社 グリーンサービス経営状況報告書

1. 平成30年度 事業報告並びに収支決算報告
2. 令和元年度 事業計画並びに収支予算書

平成30年度 事業報告並びに収支決算

水田部門における収量の伸び悩みと、「米の直接支払」の廃止による補助金の減少は収支に影響が大きく、特選三朝米の販売等で販売額の補てんを図ったが、ほぼ前年並みの部門収支で終わった。

他部門では果樹部門で若干の収益減少、いちご部門の閉鎖等で収益を落とした。

一般管理費部門では、前年比で890千円ほど増加しているが、これは冬季賞与を計画どおり支給したことによるものであり、他はほぼ前年並みとなっている。

業務受託収益も前年並みに確保したが、本年は農業基盤強化準備金への積立はできなかった。

1. 水田受託事業

1) 全面受託

生産面においては、コシヒカリ・きぬむすめとも10a当たり収量で前年を下回る結果となった。大豆面積の増加等から、水稻管理面において、十分な時間がとれておらず、また経費面の心配から、土壌改良材等の施用を長年実施していないことなどで、地力低下や土壌条件の悪化が考えられるので、適宜指導を受けながら、生育診断・土壌診断等実施し、品質収量の増加を図る必要がある。

2) 水稻作業受託

面積・金額とも前年を下回った。引き続き小規模農家の水稻栽培からの撤退が続くと見られ、減少傾向が続くものと推察される。

3) 神倉大豆

①全体生育概況

栽培面積は更に増え38.9ha（前年35ha）となっており、面積的には順調に増えているが、品質・収量的には課題が多い。

7月5日～7日の集中豪雨で蒔き直しが必要となったほ場もあった。梅雨明け以降は好天に恵まれ、生育は順調に進んだが、夏季が干ばつ傾向で経過したため、蒨着きは平年に比べ少なく、蒨肥大も不良となった。平均反収は88.1kgで昨年を下回ったが、品質は大粒率が68%で昨年（57%）を上回った。

マメシンクイガによる食害粒、腐敗粒は減少したが、高温の影響でカメムシ類による被害粒がやや目立ったところがあった。一部のほ場でシカやイノシシによる被害が確認され、収穫皆無のところも見られた。

②当社収穫実績

反収が55.9kgと前年（87.4kg）を下回った。初期雑草の防除がうまくいかず、多くのほ場で雑草が繁茂した。

③作業受託

播種作業は面積増加に伴い、当社への委託が増加した。

コンバイン作業は11月中下旬が天候不順であったため、適期収穫できないところもあったが、全体的には遅れを取り戻して収穫を終えた。

2. 観光果樹園事業

大きな気象災害はなく、生産面では順調に推移したが、夏の干ばつにより小玉傾向で日焼け果も見られた。
販売面では進物が若干減少したことと、秋の行楽シーズンの週末に相次いで台風が襲来したため、楽市楽座の客数が大きく減少したことにより、販売額が伸びせなかった。

3. 業務受託

1) 発電事業

毎日の現地検診・除塵機のトラブルが少なくなり保守の労力が軽減された。しかしながら、水路の維持管理においては計画的に改修を図る箇所があり、豪雨等へは、適切な判断と慎重な対応が必要となる。

2) 給食配送

特にトラブルはなかった。

従業員の配置

平成31年3月31日現在

氏 名	職務内容	備 考
森嶋 誠美	統括	JA鳥取中央 監事
米原 章太郎		JA鳥取中央 理事
津村 隆明	果樹園	
吉田 徹	水田農業	
村尾 知義	水田農業、業務受託	
牧田 智春	事務管理	

貸借対照表

(単位：円)

平成31年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産		I 流動負債	
現金・預金	8,133,535	未払金	1,235,522
商品	6,836,114	前受金	
原材料	1,478,678	仮受金	
未収金	1,874,942	賞与引当金	652,681
仮払金		未払法人税等	273,700
前払費用	245,065	未払消費税	1,466,000
差入保証金	14,530	流動負債 計	3,627,903
流動資産 計	18,582,864	II 固定負債	
		長期借入金	10,804,666
		長期未払金	3,405,720
II 固定資産		農業経営基盤強化準備金	7,233,370
構築物	285,715	固定負債 計	21,443,756
機械及び装置	19,623,683		
車両運搬具	6,277,386	負債の部 合計	25,071,659
果樹園	10,428,572		
工具器具備品	142,857	III 資本金	12,500,000
リース固定資産	6,453,800	IV 利益準備金	850,000
減価償却累計額	△ 33,183,433	V 修繕積立金	3,600,000
土地	17,000,001	VI 繰越利益剰余金	3,411,901
経営安定積立金			
差入保証金		当期純利益	177,885
固定資産 計	27,028,581	純資産の部 合計	20,539,786
資産の部 合計	45,611,445	負債・資本の部 合計	45,611,445

損益計算書

(単位：円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	金 額	科 目	金 額
I 事業費用	42,181,466	I 事業収益	49,099,904
水田受託事業	35,012,557	水田受託事業	37,994,260
果樹園	5,010,662	果樹園	6,713,010
いちごハウス	581,658	いちごハウス	392,634
発電所	68,805	発電所	1,800,000
給食配送	1,507,784	給食配送	2,200,000
II 事業管理費	21,760,151	II 事業外収益	8,063,695
一般管理費	21,760,151	受取利息	65
雑支出		雑収入	8,063,605
		受取配当金	25
III 事業外費用	32,463		
支払利息	32,463		
IV 特別損失	1,879,629	III 特別利益	9,141,695
農業経営基盤強化 準備金繰入額		農業経営基盤強化 準備金戻入額	1,879,630
補助金圧縮損		補助金	7,262,065
固定資産圧縮損	1,879,629	固定資産売却益	
固定資産除却損		経営安定補填収入	
V 法人税及び住民税	273,700		
当期利益	177,885		
合 計	66,305,294	合 計	66,305,294

損益計算書内訳

水田受託事業

(単位：円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
賃 金	2,609,200	米販売代金	22,210,283
種苗費	1,881,439	大豆販売代金	885,450
肥料代	875,230	農作業受託	7,832,462
農薬代	1,104,930	雑収入	229,951
車両費	116,538	期末棚卸農産物	6,836,114
車両燃料費	1,050,566		
農具代	281,227		
会議費	67,686		
負担金	130,960		
保険料	769,108		
借地料	930,485		
利用料	3,622,195		
米 代	7,786,343		
修繕費	2,807,200		
作業委託料	298,000		
減価償却費	2,737,825		
諸材料	121,881		
雑 費	272,675		
租税公課	135,700		
通信費	2,050		
支払利息	75,213		
繰越農産物	7,336,106		
合 計	35,012,557	合 計	37,994,260

差引き利益 2,981,703

果樹園

(単位：円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
賃 金	1, 720, 200	販売代金	6, 525, 157
肥料代	260, 209	入場収入	183, 751
農薬代	698, 948	雑収入	4, 102
農具代	59, 264		
動力光熱費	49, 157		
負担金	2, 800		
保険料	81, 017		
借地料	41, 190		
修繕費	20, 380		
諸材料	996, 961		
租税公課	17, 800		
支払利息	105, 366		
減価償却費	610, 527		
通信費	5, 947		
広告宣伝費	13, 250		
雑費	327, 646		
合 計	5, 010, 662	合 計	6, 713, 010

差引き利益	1, 702, 348
-------	-------------

損益計算書内訳

いちごハウス

(単位：円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
賃 金	6,800	販売代金	373,188
肥料代	46,210	入場収入	19,446
動力光熱費	18,428	期末棚卸農産物	0
諸材料	11,058		
雑費	3,705		
繰越農産物	495,457		
合 計	581,658	合 計	392,634

差引き利益

△ 189,024

損益計算書内訳

発電所

(単位：円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
通信費	25,002	業務受託料	1,800,000
車両燃料費	37,738	(J A鳥取中央)	
雑費	5,065		
租税公課	1,000		
合 計	68,805	合 計	1,800,000

差引き利益

1,731,195

損益計算書内訳

給食配送

(単位：円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
作業再委託費	1, 453, 600	業務受託料 (三朝町)	2, 200, 000
雑費	54, 184		
合 計	1, 507, 784	合 計	2, 200, 000

差引き利益

692, 216

損益計算書内訳

一般管理費

(単位：円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
役員報酬	960,000		
給与	13,249,540		
賞与	2,463,966		
退職金掛金	813,380		
法定福利費	2,912,317		
福利厚生費	160,761		
通信費	95,986		
水道光熱費	51,498		
旅費交通費	40,094		
会議費	60,741		
事務消耗品費	87,901		
備品消耗品費	0		
図書費	33,482		
修繕費	48,059		
支払家賃	360,000		
車両燃料費	91,226		
保険料	28,921		
租税公課	20,915		
リース代	13,200		
支払手数料	2,200		
雑費	265,964		
合 計	21,760,151		

損益計算書内訳

補助金

(単位：円)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
		三朝町	5,000,000
		中山間地域等直接	2,235,610
		支払交付金	
		その他	26,455
合 計	0	合 計	7,262,065

差引き利益 7,262,065

令和元年度 事業計画並びに収支予算

管理委託希望の水田が年々増えており、水田農業担い手協議会メンバー・農業委員による「利用調整会議」においても、受け手が確保できない農地が出ている。当社は設立目的の中で、ほ場整備田は受託する義務を負っていることとなっているが、機械の大型化で進入ができない狭小水田や、遠隔地水田等については断る事例ができています。

守るべきもの、守れないものの取捨選択も想定しながら、水田農業のみならず複合的な農業経営形態モデルを設定し、担い手農家・集落営農と連携しながら、中山間地に適した収益性のある農業生産活動を模索しなければならない。

当社もそれについては理解を得ながら、自立できる経営体として改革を図る時期に来ている。新規作物の導入等も視野に入れながら、後継者の育成、収益構造の変革を進めて行く必要がある。

各事業の重点事項

《水田受託事業》

1. 生産量・品質向上のための生育診断・土壌診断。
2. 適期作業の実施。
3. 自己保全管理にかわる、省力化作物の導入検討。
4. 三朝神倉大豆の栽培支援。
 - ・適期播種、適期刈取、防除支援。

《観光果樹園》

1. 適期作業及び適切な栽培管理による高品質安定生産。
2. 販売強化及び販売先の開拓。
3. 幸水園の品種更新の検討及び実施。

《業務受託事業》

(発電所・給食配送)

1. 委託者の信頼に応え、確実な業務遂行に努める。
2. 日常点検の励行により、事故防止に努める。

《その他》

1. 三朝町広域営農組合事務受託
2. 多面的機能支払事務受託

【収支予算書】

予算書内訳

水田受託事業

(単位：千円)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	本年度計画	前年度実績	科 目	本年度計画	前年度実績
労務費	2,600	2,609	米販売代金	22,000	22,210
種苗費	2,000	1,881	大豆販売代金	1,000	885
肥料代	1,300	875	農作業受託	7,800	7,832
農薬代	1,500	1,105	雑収入	0	230
車両費	120	117	期末繰越商品	7,336	6,836
車両燃料費	1,000	1,051			
農具代	300	281			
会議費	100	68			
負担金	130	131			
保険料	750	769			
借地料	907	930			
利用料	3,800	3,622			
修繕費	2,000	2,807			
作業再委託費	300	298			
諸材料	150	122			
減価償却費	2,700	2,738			
雑費	300	273			
租税公課	200	136			
通信費	10	2			
米代	8,000	7,786			
支払利息	75	75			
繰越農産物	6,836	7,336			
合 計	35,078	35,012	合 計	38,136	37,993
利 益	3,058	2,981			

予算書内訳

果樹園

(単位：千円)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	本年度計画	前年度実績	科 目	本年度計画	前年度実績
労務費	1,500	1,720	販売収入	7,300	6,525
種苗費	0	0	入場収入	200	184
肥料代	250	260	雑収入	10	4
農薬代	700	699			
諸材料	1,000	997			
動力光熱費	50	49			
負担金	5	3			
農具代	50	59			
修繕費	100	20			
保険料	80	81			
借地料	40	41			
減価償却費	620	611			
租税公課	20	18			
雑費	100	328			
広告宣伝費	10	13			
通信費	5	6			
支払利息	100	105			
合 計	4,630	5,010	合 計	7,510	6,713
利 益	2,880	1,703			

予算書内訳

発電所

(単位：千円)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	本年度計画	前年度実績	科 目	本年度計画	前年度実績
労務費	0	0	業務受託料 (JA鳥取中央)	2,400	1,800
車両燃料費	60	38			
通信費	34	25			
雑費	0	6			
合 計	94	69	合 計	2,400	1,800
利 益	2,306	1,731			

予算書内訳

給食配送

(単位：千円)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	本年度計画	前年度実績	科 目	本年度計画	前年度実績
作業再委託費	1,380	1,454	業務受託料 (三朝町)	2,200	2,200
雑費	60	54			
合 計	1,440	1,508	合 計	2,200	2,200
利 益	760	692			

予算書内訳

事業管理費

(単位：千円)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

費 用	本年度計画	前年度実績	収 益	本年度計画	前年度実績
役員報酬	960	960			
給与	13,424	13,250			
賞与	2,500	2,464			
退職金掛金	808	813			
法定福利費	3,000	2,912			
福利厚生費	150	161			
通信費	100	96			
水道光熱費	60	51			
旅費交通費	50	40			
会議費	60	61			
事務消耗品費	100	88			
備品消耗品費	0	0			
図書費	34	34			
修繕費	60	48			
車両燃料費	90	91			
支払家賃	360	360			
保険料	54	29			
租税公課	30	21			
リース代	90	13			
減価償却費	0	0			
支払手数料	2	2			
雑費	265	266			
合 計	22,197	21,760			

損益計算書

(単位：千円)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
I 事業費用	41,242	I 事業収益	50,246
水田受託事業	35,078	水田受託事業	38,136
果樹園	4,630	果樹園	7,510
発電所	94	発電所	2,400
給食配送	1,440	給食配送	2,200
II 事業管理費	22,197	II 事業外収益	6,748
一般管理費	22,197		
III 特別損失	0	III 特別利益	7,026
当期利益	581		
合 計	64,020	合 計	64,020